

当社初、蓄電池併設型太陽光発電所向け ノンリコース型プロジェクトファイナンスを実行

オリックス銀行株式会社（本社：東京都港区、社長：寺元 寛治）は、2026年3月27日、大分県宇佐市にある蓄電池併設型太陽光発電所（以下、「本発電所」）を対象としたノンリコース型のプロジェクトファイナンスを実行しましたので、お知らせします。蓄電池併設型太陽光発電事業向けのノンリコース型のプロジェクトファイナンスは、当社として初の取り組みとなります。



対象の蓄電池併設型太陽光発電所

本発電所の設備容量は約 2,000kW、蓄電池容量は約 7,400kWh です。当社は、本発電所の保有・運営を目的として設立された特別目的会社（SPC）に対して、本発電所の取得資金を資金用途とするノンリコース型のプロジェクトファイナンスを実行しました。本案件では、みずほ証券株式会社がアドバイザーを務め、ブルースカイエナジー株式会社が EPC（設計・調達・建設を一括して請け負う事業）を担います。

太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーは、天候条件により発電量の変動があり、電力需給バランスの調整が課題となっています。特に九州エリアでは、再生可能エネルギーの導入拡大に伴い出力制限が実施されており、発電された電力の一部が活用できていない状況です。蓄電池を設置することで、出力制限時に余剰電力を貯蔵し、電力需要の高い時間帯に活用することが可能となり、再生可能エネルギーの有効活用と電力システム全体の安定化に寄与します。

当社は、中期的な経営戦略の重点施策の一つとして再生可能エネルギー分野向けのプロジェクトファイナンスを推進しています。これまでに、メガソーラーやバーチャル PPA、営農型太陽光発電所へとファイナンス対象を拡大してきました。本件は、蓄電池併設型という新たな領域への取り組みであり、再生可能エネルギーの更なる有効活用に資するものです。今後も、マーケットの拡大につながる先進的な取り組みを支援し、気候変動対策などの社会課題の解決に貢献していきます。

以 上

■当社のこれまでの再生可能エネルギー向けファイナンス取組

- ・ [2021年8月19日付リリース：当社初、メガソーラーへ「グリーンローン」を提供](#)
- ・ [2023年11月8日付リリース：太陽光発電所におけるバーチャルPPAのアグリゲーションサービス契約の締結](#)
- ・ [2024年7月5日付リリース：バーチャルPPAの太陽光発電所に対するノンリコース型のプロジェクトファイナンス契約を締結](#)
- ・ [2025年6月20日付リリース：当社初、営農型太陽光発電所を対象としたノンリコース型のプロジェクトファイナンスを実行](#)

<報道関係者からのお問い合わせ先>

オリックス銀行株式会社 経営企画部 TEL：03-6722-3630